

の授業のこと、今の国や政治のこと、その他、歴史や地理や経済や地域のことなど、思う存分語り合える場でありたいと考えています。今年度は憲法改正問題や共謀罪法案成立の問題や今後の社会科教育の在り方等をテーマとし、右も左も関係なく自由な話し合いの場を設定して、討議を深めたいと考えています。皆さんの参加を心待ちしています。

◎推進委員長

原田 一男（水沢工業高校）

13. 理科教育分科会

◎今年の討議の柱

- ①子どもたちや社会の変化に応じた理科教育
- ②科学的かつ客観的な見方を養う理科教育
- ③日常生活と関連づける理科教育

◎推進委員長

齊藤 暁久（盛岡市立高校）

14. 数学教育分科会

◎共同研究者、共同討議者紹介

共同研究者：小宮山 晴夫さん（岩手大学）

伊藤 潤一さん

（盛岡白百合学園/元高教組組合員）

共同討議者：宮本 明子さん（水沢商業高校）

◎今年の討議の柱

- ①わかって楽しい授業を創ろう！
- ②自然・社会現象にひそむ数学の世界を体験させる実践を。
- ③真の学力向上をめざして！
- ④現行の指導要領のもとでの、新しい授業の実践を。
- ⑤観点別評価の課題について検討をしよう。

◎分科会アピール

県教研の数学教育分科会は、授業実践の報告はもちろん、教材研究(また、その延長にある発展的な研究も可)、授業で活用した教具の紹介など、幅広い内容で行っています。

日頃の授業の中で、実践したことの紹介と子どもたちの様子を含めたその結果、今後こう実践してみたいのだけど…など、様々な悩みをかかえている人も多いと思います。

ちょっとしたことでいいと思います。それ

らをまとめて、教研の場で、話してみましよう。参加者の中には同じようなことにとりくんだり、これからとりくもうとしていたり、また、違った方法でアプローチしたという人もいます。それらに触れることで、授業の課題の解決のヒントになり、そして、今後の授業をよりよいものになると思います。気兼ねなく、自由に意見を言える場ですので、発表者以外でも積極的に教研に来て、今自分が考えていることを、授業の中で挑戦したこと等、気軽に話してみてください(知り合いの組合員も誘って)。得られるものは必ずあります。分科会を運営する教研推進委員も、提供できるたくさんの話題をもっています(推進委員のみなさん、よろしくをお願いします)。「こうやってみた」「自分はこうしてみたい」という意見交換ができれば明日の授業へ原動力につながります。共同研究者や共同討議者からも、大変ためになる数学教育の実践報告や話題提供もあります。それらをもとに、参加者で学習していく教研の場にしたいと考えています。

また、昨年の教研でできなかった、確率の実験などを今年は参加者と行ってみたいと思っています。

◎推進委員長

下河原 英（盛岡第四高校）

16. 技術・職業教育分科会

◎今年の討議の柱

- ①震災や放射性物質による汚染などの学校現場への影響と課題
- ②専門学科の敷居を越えた職業教育の実践
- ③地域に根ざした職業教育
- ④魅力ある授業実践

◎推進委員長

竹内 顕二（宮古水産高校）

